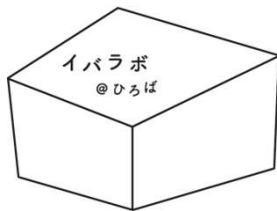


場づくりに考える

IBALAB@広場の事例から

公共地でもなく、私有地でもない、コモンズな風景をめざしたIBALAB@広場。
「コモンズ」は本来、共有地や公園、共同管理などの意味を持ちますが、現代的には、「公」でも「私」でもなく「共」、あるいは誰にでもひらかれた「第3の場所」とも言われています。
行政は場をひらき、市民は思い思いに過ごしたり、楽しみながら活動する。自由で豊かな風景が広がる広場でしたが、それだけでなく、市民が広場づくりや運営に関わることもあったそうです。
広場へのさまざまな関わりしるを生み出し、参加の広がりとおープンな議論につながっていったIBALAB@広場の活動を振り返りながら、場づくりに必要な仕掛けやポイントを考えます。



ゲスト：向田明弘（茨木市市民文化部長理事兼共創推進課長）
的場 理（茨木市市民文化部長共創推進課おにクルグループ長）

聞き手：雨森 信（HUB-IBARAKI ART PROJECTアドバイザー）

日 時：2025年6月29日（日） 13:30-15:00

会 場：茨木市市民総合センター[クリエイトセンター]1階 喫茶・食堂スペース

茨木市駅前四丁目6番16号

参加費：無料 ※要申込

定 員：先着 30名 下記の申込フォームよりお申し込みください。



◀申込フォーム

【主催 / 問合せ】
公益財団法人茨木市文化振興財団
TEL:072-625-3055 (10:00~17:00)

公益財団法人
茨木市文化振興財団
IBABUN
Ibaraki City Cultural Foundation

<https://hub-ibarak-art.com/>



JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木市駅から西へ徒歩12分